



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市中昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

全板国保組合 第87回通常組合会開催

全板国保組合の第87回通常組合会が、平成25年3月1日(金)にメルパルク東京に於いて、理事11名、監事2名、議員42名の出席で開催された。

冒頭、石本惣治理事長が挨拶に立ち、政権交代による期待感の話と5月の全板北海道旭川大会への多数の参加を呼び掛けた。議長に岐阜県板の村上正雄議員、副議長に福岡県板の米倉明議員が選出され議事に入った。

第1号議案の25年度事業計画については、重点事項を
(1)収入の確保
(2)業務の適正化、効率化
(3)医療費の適正化
(4)保険事業の充実
とし、その他の事業概要として、健全財政の確保、業務運営の充実・強化等

を行う事を確認した。

第2号議案の第1条歳入歳出予算では、歳入歳出の総額を63億2千万円弱と定め、直接関連して議決を求める事項について、第2条借入金について、給付金・支援金の財源が不足した時の借入方法並びに償還方法、第3条重要財産の処分(退職積立金に充てる為)、第4条特別積立金の繰替使用(支払財源が不足した場合)限度額を4億円とする等の関連事項を議決した。



▶あいさつする石本理事長

第3号議案では、組合規約の一部改正(組合員が板金業に従事する者の判定基準の施行)、第4号議案の法令厳守の為の実践計画について等が全て議決された。

その後の伝達事項では「組合会議員の選出方法の説明、東日本大震災に伴う被災者に対する一部負担免除の延長を25年度も継続する事、また、加入者に配布される全板国保ガイドブックが非常に良く出来上がっている為大いに活用してもらいたい」等の報告があった。

最後に横瀬副理事長は閉会の挨拶の中で「私も服用している安価なジェネリック医薬品をお勧めします」と述べ、午後3時に閉会となった。

後藤 実(国保組合会議員)



豊田支部 第57回通常総会開催

豊田支部は、3月9日(土)に、豊田産業文化センターに於いて第57回通常総会を開催した。

小倉賢一氏が司会を担当。出席者24名、委任状提出6名であった。

松井繁支部長の挨拶の後、来賓紹介に移り、愛知県板小野寺俊一理事長、西三板金連合会高橋銀吾会長、横山興業(株)横山眞久社長の3氏が紹介された。

青年部長の福田秀和氏が議長に選出され議事に入った。事業報告、会計報告、会計監査報告が承認され、役員改選の議事に入り、新支部長に杉本忍氏が決定した。続いて平成25年度の事業計画案及び予算案が承認され議事は終了した。



▶杉本新支部長

各委員会、団体の報告事項の後、今年度で退会される1名の紹介と新規加入組合員のY's metal(ワイズメタル)中根康博氏の挨拶があった。

来賓挨拶では小野寺理事長より保証制度再講習の話や、現在の県板の活動についての話があり、高橋西三板ロック長からは青年部活性化についての話があった。最後に伊藤勇氏の閉会の辞により滞

り無く総会は終了した。近年は、当支部内でも飲酒運転禁止の意識が強く、支部の方針で食事のみとなり散会となった。

赤池(豊田支部)



▶総会風景

訓練展 フェスティバルを開催

3月23日(土)24日(日)の二日間、岡崎市産業人材支援センターにおいて、訓練展フェスティバルが開催された。

岡崎技術工学院、県立岡崎工業高校、地域企業等の各ブースで、ものづくり体験教室や展示販売が行われた。

(2頁へつづく)



▶マドラー作り

(1頁よりつづき)
また、二〇一四年愛知県で開催される技能五輪・アビリンピック全国大会のPR展示もされた。

豊田支部青年部 第33回通常総会開催

豊田支部青年部は、3月2日(土)に、豊田市聖心町の万徳にて第33回通常総会を開催した。

当日は部員16名全員が出席、また来賓として親組合より中根圭介会計と、横山興業(株)の松本収氏と

板金科は銅製と真鍮製のマドラー作りと銅板レリーフの体験教室を行った。安形(岡崎支部)

恩澤直樹氏が出席された。部長挨拶、来賓挨拶の後、赤池が議長に選出され、議案審議はスムーズに行われた。本年は役員改選の年ではないので前年同様、部長福田秀和氏・副部長角野祐介氏・会計

松井宗浩氏です。総会終了後、懇親会が開催され、乾杯の音頭を恩澤氏にとつて頂いた。

岡崎支部青年部

しくりエーション

岡崎支部青年部は2月23日(土)24日(日)の二日間、長野県白馬村の八方尾根スキー場に6名で行ってきました。

初日は天候に恵まれ、前日から降っていた雪もやみ、パウダースノーでボードを満喫することができました。夜は、昼間の疲れも忘れ、お酒を飲みながら、普段語るこ

ができるような仕事のこと、遊びのこと、家族のことなど各々熱く語り合うことができてよかったですと思います。二日目はあいにくの吹雪で視界も悪く、ほとんどのリフトが止まるなか、それでもスノーボードに行く人、旅館でくつろぐ人、どちらもそれなりに楽しんでいました。

とても充実した二日間を楽しむことができました。内山直行(岡崎支部)



日	内容
1日	全板国保組合 於メルパルク東京
3日	出席者 鈴木・後藤
4日	出席者 石川
6日	出席者 今井・湯淺・今枝・齋藤
7日	出席者 理事
8日	出席者 齊藤
9日	出席者 理事
13日	出席者 理事
14日	出席者 理事
15日	出席者 理事
15日	出席者 理事
22日	出席者 理事
26日	出席者 理事
27日	出席者 理事
29日	出席者 理事

支部名	内容	人数
名古屋板金連合会	21日 三役会	4名
瑞穂支部	1日 定例会	18日
熱田・南支部	21日 定例会	6名
中川・港支部	28日 定例会	17名
津島支部	5日 定例会	5名
西春日井支部	3日・4日 慰安旅行	16名
西三板金連合会	22日 正副会長会議	5名
豊田支部	2日 青年部総会	16名
西尾支部	15日 第2回役員会	11名
東三支部	7日 定例会	14名
新田役員引継会	12日 新田役員引継会	11名

編集後記

「二期2年でいいから」の誘い文句で広報委員になって12年、7期目に突入した。

この12年、4人の委員長の下で広報委員を務めてきたが、この機関紙「愛板」もその委員長の色が出るものだと感じた。今回、広報委員長の大役を拝命した。今の私の技量では少々荷が重い。

委員長の役目は委員会の取りまとめが主であることは違いないが、この編集後記もまた委員長の仕事である。歴代の委員長もさぞ大変だったことと思う。

私も例外なく、毎月、11文字・33行に頭を悩ませる事になりそうである。

三月二十九日(金)
四九一号 編集会議
広報委員 5名
理事長出席
午後二時半開会
午後五時閉会